

## 経済産業省の DX 認定取得を「DX 推進サポートの STANDARD」が支援 地域創生を目指す SIer「福島コンピューターシステム」へ講座を提供

大手企業を中心に 600 社以上のデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）の推進と内製化を支援する株式会社 STANDARD（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：榎野恭生、以下「STANDARD」）は、福島コンピューターシステム株式会社（本社：福島県郡山市、代表取締役社長：芳賀洋輔、以下「FCS」）に対し、DX 戦略パートナーとして、DX リテラシー講座の提供を開始いたしました。



FCS は、福島県郡山市に本社を置く、独立系のシステムインテグレーター（SIer）として、「業務系」「制御系」「組込系」の 3 分野のシステム開発を行い、多くの企業に最適なシステムを提供しています。また、福島イノベーションコースト構想への参画、再生可能エネルギー関連システムへの取り組み等、システム開発を通して福島の復興に積極的に関わっており、経済産業省からは、地域経済の担い手となる中核企業として「地域未来牽引企業」に選定されました。第四次産業革命と呼ばれる新たな技術の実装段階の時代に、さらなる福島創生に向けて、そして、ポストコロナ時代に向けて情報革命を起こすべく、STANDARD の提供する DX リテラシー講座を受けながら環境整備に注力しております。

### ■ FCS 執行役員 CDO 本多様

#### ・DXを開始した背景

DX という言葉自体が現在よりも普及していなかった頃、FCS がシステム開発を担当してきたお客様に「これまでのシステムを全部作り直したい」とご相談をいただきました。お客様からは、マルチクラウド対応のシステム構築やアジャイル開発での進行をご要望としていただき、それが従来の開発方法や企業の姿勢を変えるきっかけとなりました。

その後、DX 推進チームを結成いたしました。メンバーは、固定概念に囚われない人が良いと考え、社歴の短い者や IT に関わらない業務に携わっている者で構成しています。

#### ・STANDARD を選んだ理由

STANDARD 営業担当者の、DX に対する知識や認識を社内で共通化させてから DX を推進したほうがよりスムーズだという話に共感するとともに、DX リテラシー講座の内容が FCS に適していると感じたためです。特に冒頭のデジタル技術の活用についての解説は参考になりました。最初に社長や経営陣が講座を受講しましたが、受講者全員からわかりやすいと高評価を受け、全社に展開することを決定いたしました。また、講座を通して生まれたアイデアは、DX 推進チームで内容を確認した上で、社内向けアイデアは来期に活用、ビジネスの基になり得るアイデアは PoC（Proof of Concept、概念実証）を行う予定です。

## ・STANDARD「DX 推進サポート」導入を通して望むこと

お客様に「新しい提案」ができる企業にしていきたいと思えます。社員それぞれが、DX を通した「できないと思っていたことができた」という成功体験を得ることで、FCS で実際に導入したサービスや構築したシステムも活用し、ただお客様の要望を叶えるだけでなく、お客様の課題解決や成長促進に寄与する提案ができるようになることが目標です。今回 DX リテラシー講座の受講により環境が整ってきたため、企業としては、経済産業省が発表した「DX 認定制度<sup>\*</sup>」のうちの「DX-Ready 企業認定」の取得を目指しております。また、習得した DX の知識や経験を活かして、今後は DX 施策立案ワークショップの導入も検討し、新規ソリューション開発も視野に入れていきます。

## インタビュー詳細：

[https://standard-dx.com/post\\_case/fcs](https://standard-dx.com/post_case/fcs)

<sup>\*</sup> 「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業を国が認定する制度のこと。

## ■ STANDARD「DX 推進サポート」とは

企業が DX 推進を行う際にぶつかる 3 つの壁を「アイデアの壁」「投資判断の壁」「技術開発の壁」に対して、その解決策となる「DX 人材育成」「戦略コンサルティング」「技術開発支援」の一気通貫したサービスを、企業が置かれている状況や課題に応じて、最適な形でご提案・ご提供しています。

## DX推進の課題障壁とKSF

DXを成功裏に推し進めるためには、3つの壁の突破が不可欠



## ■ 株式会社 STANDARD について

STANDARD は「ヒト起点のデジタル変革を STANDARD にする」をミッションとし、DX 人材育成・戦略コンサルティング・AI 実装支援の 3 つのサービスを提供し、これまでに 600 社以上の DX 推進の内製化を支援しています。教育による組織・ヒトの変革をはじめに、1,000 人超のエンジニアを輩出する「東大人工知能開発団体 HAIT Lab」や大手コンサルティングファーム出身者、起業経験者によるアジャイルの開発アプローチにより、半年～1 年という短期間で DX の成果創出、収益化までを実現します。

公式サイト：<https://standard-dx.com/>

## 【サービスに関するお問い合わせ先】

<https://standard-dx.com/contact>